

会計名			公園再整備事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		施設整備係	
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	利用しやすい公園の整備							
	目的	近隣公園を再整備することにより、市民の健康増進の場を創出するとともに、公園施設の充実を図る。			主たる内容	近隣公園を対象にウォーキングコースや健康遊具の設置に合わせ、老朽化した施設の改修、植栽整備等を行うとともに、街区公園等のトイレの洋式化及び老朽化した施設の改修を行う。				
		位置づけ	関連計画	第3次緑の基本計画						
		位置づけ	根拠法令	都市公園法						
		対象者	市民			事業期間	令和3年度～令和11年度			
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・公園等トイレ改修計画の策定 ・日高公園再整備設計 ・公園等トイレ改修 ・ベンチ更新		・日高公園再整備工事 ・ウォーキングコース導入検討 ・猿渡公園民間活力導入検討 ・公園等トイレ改修 ・ベンチ更新		・日高公園再整備工事 ・猿渡公園再整備工事（Park-PFI） ・再整備方針の検討 ※公園等トイレ改修、ベンチ更新は公園施設更新事業に移行		・野田公園再整備実施設計		
成果		・日高公園において、ウォーキングコースを設置することで市民の健康増進の場を創出することができた。 ・猿渡公園においてPark-PFI制度を活用した公園整備を行い、更なる賑わいの創出と利便性の向上を図ることができた。								
課題		・公園利用者の安全や利便性を確保しながら工事を行うには、施工方法を工夫する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		—	77.3	—	78.3	79.3		
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		34,005	219,668	248,118	7,200	合計 248,118,400 円			
	財源	特定財源	0	46,087	98,500	0	役務費 23,000 円			
		一般財源	34,005	173,581	149,618	7,200	委託料 484,000 円			
	職員人件費 ②		7,760	19,764	6,906	2,326	工事請負費 123,611,400 円			
	総事業費（①+②）		41,765	239,432	255,024	9,526	公有財産購入費 124,000,000 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0	社会資本整備総合交付金（国）					
		7年度以降の事業費見込		0	社会課題対応型都市公園機能向上促進事業費補助金（国）					

会計名			公園再整備事業	担当部	都市公園部
一般会計				担当課	公園整備課
款	項	目		担当係	施設整備係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	ウォーキングコースや健康遊具の設置などは、公園利用者の増加や市民の健康づくりに必要な事業である。また、更なる魅力や利便性の向上を図るため公園施設の充実を図る必要がある。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	社会資本整備総合交付金等の補助金やPark-PFI制度による民間資金などの活用により、既存園路や施設をいかした再整備を行うことにより、コストの節減に努めている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	市が管理している公園施設の老朽化が原因であることから、魅力の向上や施設の安全性を確保するため、市が主体となって行うべきである。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	再整備により公園の魅力が向上し、成果指標の向上につながるとともに、公園の充実が市の魅力、住みよいまちへの評価につながり、定住促進に寄与する。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	市民の健康増進の場の創出に向けて、公園の再整備を推進する必要がある。				

会計名			岩ヶ池公園整備事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		施設整備係	
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	特色ある公園の整備							
	目的	伊勢湾岸自動車道の刈谷パーキング施設と一体となった新たなアミューズメント空間の創出を行い、あわせて岩ヶ池や周辺の森林を活かした「自然とふれあい、遊び、学ぶ」場を創出する。				主たる内容	○第1、第2、第3駐車場の改修 ○第二期整備区域の整備（駐車場、広場） ○第三期整備区域の拡張整備（歩道橋、駐車場）			
		位置づけ								
		関連計画	第3次緑の基本計画 第3次観光推進基本計画							
		根拠法令	都市公園法							
	対象者	市民				事業期間	平成5年度 ～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
・第1、第2、第3駐車場改修工事 ・第三期拡張区域駐車場整備工事 （R2繰越分含む） ・横断歩道橋整備工事		・第三期拡張区域駐車場整備工事 ・第二期拡張区域整備工事 （R3繰越分含む） ・横断歩道橋整備工事		・第三期拡張区域駐車場整備工事		・仮設駐車場撤去工事（R5繰越分） ・第三期拡張区域駐車場看板設置工事 ・第三期拡張区域駐車場植栽工事				
成果		・第三期拡張区域の駐車場を整備することにより、来園車両による周辺道路の渋滞解消とともに、公園利用者の利便性の向上を図ることができた。								
課題		・第三期拡張区域の駐車場内の安全な誘導方法について検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		—		77.3	—		78.3	79.3
成果指標		来場者数（万人）		635		737	766		800	820
他市との比較検証		他のハイウェイオアシスの来場者数（令和4年度） ・各務原市 河川環境楽園（約412万人） ・豊田市 鞍ヶ池公園（約146万人）								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		570,457	480,424	237,031	26,136	合計 237,030,796 円			
	財源	特定財源	550,013	198,219	59,500	12,687	委託料 2,220,900 円			
		一般財源	20,444	282,205	177,531	13,449	使用料及び賃借料 897,096 円			
	職員人件費 ②		12,492	7,341	6,906	4,264	工事請負費 233,912,800 円			
	総事業費（①＋②）		582,949	487,765	243,937	30,400				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金（国）				
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			岩ヶ池公園整備事業	担当部	都市公園部	
一般会計				担当課	公園整備課	
款	項	目		担当係	施設整備係	
8	4	5				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	岩ヶ池周辺において公園整備を行うことにより、年々減少している緑の保全を図るとともに、本公園は本市を代表する施設となっており、本市のレクリエーションや交流の場、観光の拠点として、魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けた取組を推進していく必要がある。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	社会資本整備総合交付金の活用により事業費を確保するとともに、既存樹木の活用や地形の改変抑制など、現況特性を生かした整備によりコスト縮減を図っていく。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	第8次総合計画の観光施策では、市の観光の核となる施設に位置付けるとともに、第3次緑の基本計画では拠点となる緑の充実のため、周辺の自然環境やパーキングエリアの機能をいかし、レクリエーション拠点としての機能の拡充を位置付けている。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	刈谷ハイウェイオアシスとして、年間約800万人の利用者があり、本市の観光や産業をPRする場となっているほか、イベント開催等により、市民の交流・活動の場を提供しており、成果指標の達成における中心的な公園となっている。	
	今後の方向性		■ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止			
都市計画決定面積約41.7haの内、開設面積は約13.5haであるため、魅力あふれる公園づくり構想の実現に向けた取組とあわせて、拡張整備を推進していく必要がある。						

会計名			岩ヶ池公園改修事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		施設整備係	
8	4	5								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の管理・運営						
	目的	岩ヶ池公園において、老朽化や破損した施設を改修し、安全性及び快適性の維持向上を図る。				主たる内容	劣化等により不具合が生じた施設の改修や修繕等を行う。		
	位置づけ	関連計画	第3次緑の基本計画 第3次観光推進基本計画						
		根拠法令	都市公園法						
	対象者		市民			事業期間	～		
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	・大型有料遊具修繕 ・幼児用遊具ゾーン補修 ・有料遊具ゾーン舗装補修		・大型有料遊具修繕 ・幼児用遊具ゾーン補修ほか		・大型有料遊具修繕 ・遊具更新工事		_____		
	成果		・大型有料遊具の修繕や林間遊具ゾーン遊具を更新することで、利用者の安全性の確保や利便性の向上を図ることができた。						
	課題		・大型有料遊具等の更新時期の検討が必要である。						
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		—		77.3	—	78.3	79.3
	成果指標	来場者数（万人）		635		737	766	800	820
	他市との比較検証		他のハイウェイオアシスの来場者数（令和4年度） ・各務原市 河川環境楽園（約412万人） ・豊田市 鞍ヶ池公園（約146万人）						

C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		19,700	64,547	26,144	0	合計	26,143,700 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	26,143,700 円	
		一般財源	19,700	64,547	26,144	0			
		職員人件費 ②		2,082	2,447	2,110	0		
	総事業費（①＋②）		21,782	66,994	28,254	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			岩ヶ池公園改修事業	担当部	都市公園部
一般会計				担当課	公園整備課
款	項	目		担当係	施設整備係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	刈谷ハイウェイオアシスとして、年間約800万人の利用者があり、本市の観光や産業をPRする場になっているため、公園利用者の安全性と快適性の維持向上を図る必要がある。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	計画的に大型有料遊具の改修等を行うことにより、事故を未然に防止することができる。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次総合計画には「公園に求められる機能を持続的に発揮するために、公園施設の長寿命化などにより適正な維持管理を推進する」と位置づけているうえ、市の公園にある施設の改修等であるため、市が実施するべきである。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	計画的に施設の改修等を行うことで、安全性と快適性の維持向上を図り、継続して「憩い」や「にぎわい」の場を創出することで、成果指標の達成に寄与することができる。
	今後の方向性		□ 拡充 ■ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	開園から20年近く経過し、老朽化が進むとともに利用者のニーズも多様化しているため、利便性と快適性の向上とともに、ニーズにあわせた改修を順次進めていく必要がある。				

会計名			魅力あふれる公園づくり事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		事業推進係	
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	特色ある公園の整備							
	目的	本市の魅力を発信する洲原公園、岩ヶ池公園、総合運動公園、亀城公園、フローラルガーデンよさみの5つの公園を対象に、各公園の特徴を生かした将来構想を策定し、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりを推進する。					主たる内容	○魅力あふれる公園づくりに向けた構想策定 ○構想の実現に向けた検討		
		位置づけ	関連計画	第3次緑の基本計画						
		根拠法令	都市公園法							
	対象者	市民			事業期間	令和3年度～令和6年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画			
			・策定委員会の開催 ・市民公園づくり会議の開催 ・利用者アンケートの実施		(R3繰越分) ・策定委員会の開催 ・市民公園づくり会議の開催 ・出張アンケートの実施 ・パブリックコメントの実施		・推進委員会の開催 ・サウンディング型市場調査 ・整備に向けた課題の整理 ・整備優先順位の検討 (R4繰越分) ・将来構想説明資料の作成		・魅力創出に向けたイベント等の実施 (R5繰越分) ・整備優先順位の検討 ・構想ロードマップの策定	
成果			・有識者などで構成する魅力あふれる公園づくり推進委員会を開催し、多様な意見を取り入れながらロードマップの策定に向けた検討を進めることができた。							
課題			・5つの公園の課題を整理し、事業手法など構想の実現に向けた検討を進める必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		3年度	4年度	5年度	6年度	8年度				
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）	—	77.3	—	78.3	79.3			
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,569	12,590	12,791	67,162	合計 12,791,360 円			
	財源	特定財源	0	12,197	11,550	38,830	報償費 258,960 円			
		一般財源	5,569	393	1,241	28,332	委託料 12,529,000 円			
	職員人件費 ②		11,356	9,600	9,591	11,630	使用料及び賃借料 3,400 円			
	総事業費（①+②）		16,925	22,190	22,382	78,792				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0	前年度繰越金					
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			魅力あふれる公園づくり事業		担当部	都市公園部
一般会計					担当課	公園整備課
款	項	目			担当係	事業推進係
8	4	5				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	新型コロナウイルスの感染拡大や高齢化の進展などに伴う社会情勢やニーズの変化により、公園が担う役割は多様化しており、公園の持つ機能の更なる充実や魅力の向上による誰もが行きたくなるような公園づくりが必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	有識者等からなる推進委員会を開催することにより、多様な意見を取り入れながらロードマップの策定を進めている。また、効率的かつ効果的な官民連携による公園整備に向けて民間事業者を対象としたサウンディング調査を実施している。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	第8次総合計画には、構想を策定した5つの公園では、特色をいかした公園整備を推進することとしており整合している。また、市が所有している公園の将来構想の策定及びその構想の実現に向けた検討であることから、市が実施すべきである。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	構想の実現を目指して誰もが行きたくなるような公園づくりを推進することで、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに寄与するとともに、新たな「憩い」と「にぎわい」の場を創出することができる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☒ 休止・廃止			
	構想の実現に向けて、公園の魅力を高めるイベント等を実施するとともに、整備に向けた優先順位の検討、ロードマップの策定を行う。 また、構想の実現に向けた事業は、今後、ロードマップに基づき各公園の整備事業として実施していく予定である。					

会計名			（仮称）たまち公園等整備事業				担当部	都市公園部	
一般会計							担当課	公園整備課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	4	5							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	利用しやすい公園の整備						
	目的	しげはら園の移転及び刈谷豊田総合病院の拡充にあわせ、住吉公園を移転し、（仮称）たまち公園を整備するとともに、神田公園を再整備することで、公園機能の増進を図る。				主たる内容	○（仮称）たまち公園の整備 ○神田公園の再整備		
		位置づけ	関連計画	第3次緑の基本計画					
			根拠法令	都市公園法					
			対象者	市民			事業期間	令和5年度～令和9年度	
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画		
					・（仮称）たまち公園の実施設計、用地取得 ・神田公園の実施設計		・都市計画決定の手続 ・（仮称）たまち公園の事業認可申請、用地取得（R5繰越分） ・（仮称）たまち公園の実施設計		
成果		・（仮称）たまち公園の実施設計を進めることで、公園レイアウトに関する地元等との協議を進めることができた。 ・神田公園の実施設計をワークショップ形式で進めることで、地元意見を反映した整備計画を策定することができた。 ・都市計画決定に向けた地元説明会を開催することができた。							
課題		・整備に向けて、地権者や近隣住民などとの調整を図る必要がある。 ・（仮称）たまち公園までのアクセスについて関係部署と調整を図る必要がある。							
指標名称（単位）			実績値		目標値				
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		—	77.3	—	78.3	79.3	
成果指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	74,130	324,192	合計	74,130,335 円	
	財源	特定財源	0	0	0	230,005	需用費	30,000 円	
		一般財源	0	0	74,130	94,187	委託料	20,421,500 円	
	職員人件費 ②		0	0	7,481	10,855	公有財産購入費	53,678,835 円	
	総事業費（①＋②）		0	0	81,611	335,047			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			（仮称）たまち公園等整備事業	担当部	都市公園部
一般会計				担当課	公園整備課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	地域課題に対応するため、まちづくりと連携した多面的な公園の利用や再編を行う必要がある。
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	市民参加型の整備を推進することで、地域住民による積極的な利活用や維持管理が期待できることから、効率的な維持管理に寄与する。
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	第8次総合計画に「まちづくりと連携した多面的な公園の利用や再編、再整備を図る」と位置づけている。
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	公園機能の増進とともに、地域住民の利便の向上を図ることにより、本市の魅力の向上と緑豊かな潤いのあるまちづくりを推進することで、定住促進に寄与する。
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☒ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
	まちづくりと連携した多面的な公園の利用や再編にあわせて、引き続き公園整備を推進する。				

会計名			三豊公園整備事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		施設整備係	
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	利用しやすい公園の整備							
	目的	公園が不足する地域に、子どもの遊び場、高齢者の健康推進の場、地域住民の憩い・交流の場等を創出する。				主たる内容	○新規公園整備 ・場所 野田町北屋敷 ・面積 約0.33ha			
		位置づけ								
		関連計画	第3次緑の基本計画							
		根拠法令	都市公園法							
	対象者	市民			事業期間	令和3年度 ～ 令和6年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
・実施設計（ワークショップにて実施）		・用地測量（R3線越分） ・実施設計（ワークショップにて実施）		・都市計画決定の手続 ・都市計画事業認可の申請 ・用地取得		・整備工事				
成果		・地域住民に親しまれ、活用される公園づくりを行うために、ワークショップを開催し、地域住民の意見を反映した公園の設計ができた。 ・公園整備後の愛護会等の結成に向けて意見交換を行うことができた。								
課題		・地権者や近隣住民と民地沿いなどの整備内容について、具体的な調整を図る必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		—	77.3	—	78.3	79.3		
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,914	8,334	333,861	110,302	合計 333,860,829 円			
	財源	特定財源	0	4,466	0	84,000	需用費 150,000 円			
		一般財源	1,914	3,868	333,861	26,302	委託料 1,897,819 円			
	職員人件費 ②		2,650	3,765	2,686	3,101	公有財産購入費 330,807,050 円			
	総事業費（①＋②）		4,564	12,099	336,547	113,403	補償、補填及び賠償金 1,005,960 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			亀城公園等整備基金積立事業				担当部		都市公園部	
一般会計							担当課		公園整備課	
款	項	目					担当係		事業推進係	
8	4	5								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	特色ある公園の整備						
	目的	亀城公園の再整備を行うとともに、歴史博物館の建設及びその周辺施設を整備し、自然に親しみながら刈谷市の歴史に触れることができる魅力ある場所に整備するために積み立てを行う。				主たる内容	亀城公園等整備基金に寄附金等を積み立てる。		
		位置づけ	関連計画						
		根拠法令	刈谷市亀城公園等整備基金条例						
		対象者	市民		事業期間		平成21年度～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・寄附金 2,704,695円 ・運用収入 1,826,482円		・寄附金 1,221,788円 ・運用収入 2,348,248円		・寄附金 2,319,333円 ・運用収入 3,089,352円		寄附金と運用収入を基金に積み立てる。			
	成果	・寄附金等を亀城公園等整備基金に積み立てた。 ・令和6年3月末基金総額 1,680,241,343円								
	課題									
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	指標									
	指標									
	他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,531	3,570	5,409	3,646	合計	5,408,685 円
	財源	特定財源	3,660	3,540	5,277	3,646	積立金	5,408,685 円
		一般財源	871	30	132	0		
	職員人件費 ②		1,325	1,318	1,918	1,628		
	総事業費（①＋②）		5,856	4,888	7,327	5,274		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0	亀城公園等整備基金積立金			
7年度以降の事業費見込		0	公園事業費寄附金					